

## &lt;別紙1&gt;

## 第三者評価結果報告書

## ① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

## ② 施設・事業所情報

名称：かねだチャイルド園	種別：認可保育園			
代表者氏名：安本 昇	定員（利用人数）： 90名（88名）			
所在地：〒243-0807 厚木市金田254番地				
TEL：046-296-4152				
ホームページ：http://www2.ayu.ne.jp/user/kanedachilden				
【施設・事業所の概要】				
開設年月日：2002年4月1日				
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人 坂の上会				
職員数	常勤職員： 21名	非常勤職員： 1名		
専門職員	（専門職の名称）	名	（保育士）	18名
	（園長）	1名	（事務員）	1名
	（主任保育士）	1名	（用務員）	1名
施設・設備の概要	（居室数）保育室（5）、一時保育室、ホール（2）、調理室、事務室、調乳室、グリーンチップ広場			
	（設備等）トイレ（子ども3、大人3）、沐浴設備（1）、シャワー（2）、園庭、保育室（0,1歳児）床暖房、各部屋冷暖房完備			

## ③ 理念・基本方針

## 保育の理念：

児童福祉法に基づく乳幼児の保育を行うにあたっては子どもの人権や主体性を尊重し、児童の最善の幸福の為に日夜、保護者や地域社会と力を合わせ地域における家族援助を行う。なお、職員は、幼い子どもたちの保育に携わるものとして、責務の大きさの認識をさらに深め、豊かな愛情をもって接し、乳幼児の処遇向上のためこれまで以上に社会的期待に応える専門性を磨き、保護者支援、地域の子育て支援に貢献できるよう、努める。

## 保育方針：

見晴らしのよい高台の木や土に囲まれた園舎と、自然の多く残る環境を生かして若葉のような子どもたちが

①やさしさ、たくましさ、意欲と思いやりを持って、ひとみを輝かせのびのびと育ていける保育。

②一人一人の個性を尊重し、見る、聞く、触れる、自分で感じる心、実体験を大切にされた保育。

③よく食べ、よく眠り、よく遊ぶ、望ましい生活リズムを身に付け、毎日を健康で安全に過ごせる保育。

④望ましい人間関係を築けるように、異年齢間交流を日常的に取り入れる。

⑤保護者を尊重し、心情、考え方を理解する努力を惜しまず、子育てのパートナーとして共に歩む。

⑥地域と共存共栄できるよい関係を築く。専門性の提供と子育て支援に貢献するよう努める。

保育目標：

あかるく、たのしく、げんきよく！

明るく！・・・明るい笑顔いっぱいの子どもたちと職員。

楽しく！・・・楽しい食事。楽しい会話。豊かな心。

元気よく！・・・全身を使って、元気に遊ぶ健康な体づくり。

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

- ・チャイルド通信にて保護者向けに園での事故予防の取り組みを積極的に伝えている。又、保護者に伝えることで事故予防をしっかりと行うべきだと職員全員が意識している。
- ・園庭開放を行うことで地域の子育て支援になるよう努めている。継続的に来て頂けるよう、園庭開放カードを作成したり、絵本の読み聞かせを行ったりしている。また地域交流として小中学校との関わりも大切にしている。
- ・縦割り保育等の異年齢児保育やインクルーシブ保育を行い、子ども同士が共に育ちあえるような環境を整えている。
- ・各年齢ごとの成長を踏まえた保育計画を作成し、就学に向け、一人ひとりに応じた保育を行っている。
- ・保育士のスキルアップのため毎年、重点目標を掲げ、職員全員で取り組むことでより良い園となるよう取り組んでいる。
- ・食育活動では栽培、収穫、また調理してもらうことで食材への興味につなげている。
- ・縦割り保育にてクッキングを通し作って食べることの楽しさを知る機会を設けている。
- ・ピクニック弁当、行事食、バイキング給食等様々な形式で食事が楽しめるようにしている。
- ・5歳児を対象に地元のお囃子の太鼓に取り組み、行事等で披露する機会がある。
- ・園外保育（近隣の公園、畑道）、遠足などを通して自然と多く触れあっている。園内では裸足保育を取り入れ、できるだけ自然に近い形での健康な体づくりを行っている。
- ・地域貢献の取り組みとして、毎月1回、職員が園周辺清掃を行っている。
- ・子どもたちの成長を保護者と共に感じられるよう、写真などを通じ、保育の日常や行事の様子を見ていただけるようにしている。
- ・園外の研修には職員の希望を考慮しつつ職員に合った研修により多く参加できるような体制作りをしている。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和2年5月26日（契約日） ～ 令和3年1月26日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（前回：平成26年度）

#### ⑥総評

◇特に評価の高い点

1) 子どもと地域との交流を広げるための積極的な取り組み

全体的な計画、単年度の事業計画に地域との連携、支援を掲げ、地域との交流を積極的に図っています。定期的に高齢者施設を訪問し、歌のプレゼントをしたり、園の行事に招待し、交流を深めています。クリスマス飾りを製作し、ふれあいプラザに展示してもらい地域の人々に紹介しています。

小学校の総合学習や中学生の職場体験、家庭科の授業を受け入れ、交流を図っています。地域の実態に対応した事業として、園庭開放、「赤ちゃんの駅ベビリア」への登録等を実施しています。

#### 2) 職員の正規雇用による、人材の確保と定着率の向上

園運営に必要な人材や人員体制に関して、職員は正規（常勤）雇用を基本とし、配置基準を超える職員体制を組むことで、ゆとりを持った人材を配置しています。

育成に関しては職員育成理念、職員育成重点目標を明記した職務能力表や自己評価目標管理シートを利用し、毎月職員一人一人の資質向上の達成度を把握し、園内研修や外部研修を軸に計画を立てるなど職員育成にも積極的に取り組んでいます。職員の人材確保に向け、実習生を受け入れるなど保育士養成校とのつながりを大切にし、実習生の採用と定着率の向上につなげています。

#### 3) 調理室との連携づくり

職員と栄養士、調理員との連携がとて良くとれており、安心して楽しんで食べる給食づくりを積極的に行っています。当園は外部委託で食事提供をしています。アレルギー食、行事食、リクエストメニュー、クッキング保育だけでなくピクニック弁当や体調がすぐれない時の配慮メニューも提供しています。栄養士は各クラスの喫食状況を見て回り、毎月の献立作りに生かしており、保護者向けの食育レターも発信しています。

#### 4) 安心・安全な福祉サービス提供のための組織的な取り組み

リスクマネジメントチームを作り「事故対応、緊急時関係機関連絡先一覧表」のマニュアル、「事故怪我ヒヤリハット」「安全チェック表」が整備され、責任者を明確にしています。事故発生時の対応、安全確保について手順を全職員に周知しています。怪我に関しては小さな怪我についても保護者に状況と対応を伝え、記録しています。散歩先の公園の点検、SIDS予防、AEDの使い方や事故防止、子どもの安全、事故発生時の対応等の園外研修や園内研修を行い、全職員が共通理解しています。定期的に安全管理と点検表にて安全確認を行っています。

#### ◇改善を求められる点

##### 1) 保護者への情報提供の工夫

保護者への情報提供は入園時の園のしおりをはじめ、送迎時のやり取り、連絡帳、懇談会等様々な方法をとっていますが、今年度は感染予防の為、保護者は玄関での送迎になっている為、園の子ども達の様子がよく分からないとの声もあります。送迎場所や保護者への情報提供の工夫により、保護者が保育状況を知り、保護者との信頼につながる事が期待されます。

##### 2) 中期計画策定と職員との目標共有

理念や基本方針の実現に向けたビジョンを明確にしていますが、中期計画を策定するには至っていません。理念や基本方針の具現化を図るため現状分析を行い、組織体制や設備整備、人材育成等の課題解決の計画が求められます。中期的目標を明示して職員と共有するとともに、単年度事業計画への反映が期待されます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

私たち職員は日々の生活の中で、子どもたちの明るい笑顔に励まされ、保護者の皆様と成長の喜びを共にし、地域の子育て支援に貢献できる保育園を目標に工夫を重ねております。

子ども子育て支援新制度や社会福祉法人制度など国の動向が激しく変化する中で、これからの保育、子育てを更に充実したものにするには、地域における園の存在、職員のあり方などより良い保育を目指して、職員自らが現状を再確認して客観的な視点でわが園の姿を見出すことが必要と考えます。

そうしたことを念頭に昨年度から全員で、前回の受審結果の課題の分析を始め振り返り作業、改善策の検討、自主研修の実施などを重ね、その中から保育に対する職員の共通理解が得られ、意識向上が図られたものと感じます。

今回の受審の中で特に改善の提案を頂いた評価項目を重点に、職員一同更なる研鑽を重ね園児の最善の幸福のために、一人ひとりに合ったサービスの向上・園運営に心がけ、園児と保護者と地域が「明るく、楽しく、元気よく！」毎日過ごせる保育園を創り上げてまいります。

評価業務の過程で行った利用者家族アンケートを始め保護者の皆様方のご協力に心からお礼を申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり